

総合的に原因を究明

厚生省 地元の協力を要請

病の奇候の水

水俣市の奇病問題につき十五日同市福祉事務所あて厚生省公衆衛生局からこれまでの研究成果と今後の原因究明への協力方を要請するむねの文書が届いた。それによると現

在までの医学的研究ではセレン、マンガ、タリウムの三物質が中毒原因と推定されているがこれらは新日鐵工場からの廃棄物の中に含まれている。しかしこれら三物質の動物実験結果では奇病の典型的症状は現われない。従って中間

媒体である魚貝類により摂取され症状が変化し毒性をましそれを食うことによって人間の生体条件とあいまって特異な中毒作用を起すものと思われる。今後は海産物学、地質学、潮流学、応用化学など総合的研究によって原因を究明する必要があるので地元県市でも是非これに協力していただきたいというもの。